

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 91
R5. 2. 3
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

真剣、集中! 学カテスト



2月2日(木)・3日(金)に学カテストを行いました。子ども達は、学カテストをひとつの目標に、これまでの学習の復習や問題練習に取り組んできました。学カテストでは、真剣な表情で問題解決に取り組む子ども達の姿が見られました。なお、お子さんの学カテストの結果については、3月3日(金)の学年末懇談会の折に配付を予定しています。



【学カテストに取り組む2年生】



【学カテストに取り組む3年生】



【学カテストに取り組む5年生】

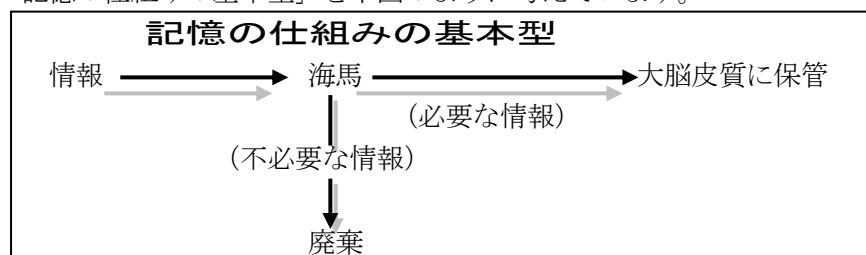
なぜ「復習」が大切なのか・・・

授業中に分かったつもりでも、2~3日もすると忘れてしまった・・・という経験がどの子にもあるでしょう。「そうならないようにするためには、どうすればよいか?」 答えは簡単。「学習したことを繰り返し復習する」ことです。しかし、当たり前のことなのですが、「なぜ、復習が大切なのでしょう?」 以下は、復習の大切さについて、**脳科学のメカニズムの説明を通して示したものです。**

学カテストは終わりましたが、あと2ヶ月は、学年の総復習に取り組む大事な時期です。高学年位のお子さんなら、説明してあげると、復習の大切さを理解して、意欲的な学びにつながるかもしれません。

〈記憶の仕組みの基本型〉

最近、脳科学や脳心理学が一気に進み、「記憶の仕組み」が明らかになってきました。最新脳科学では、「記憶の仕組みの基本型」を下図のように考えています。



まず、入ってきたたくさんの「情報」は、「海馬」に一時期保管されます。(短期記憶)

そして、その「海馬」で「情報」をふるいにかけます。「不必要な情報」は廃棄され、「必要な情報」と判断されたものだけは、「大脳皮質」に送られ、「長期記憶」として保管されます。

となれば、「必要な情報」となり、「大脳皮質に保管されるもの」は何かということになります。

その中の一つはこれです。

何度も何度も繰り返し入ってくる情報

これは、一度ではない。二度でもない。何度でも何度でも繰り返し繰り返し、入ってくるものごと、ということになります。確かに好きな歌の歌詞や自宅の電話番号などは、何度も繰り返し繰り返し脳に入ってくるので自然に覚えていますね。勉強で言えば何か。それは、「復習」です。

復習することにより、初めて長期記憶として「大脳皮質」に保管されるのです。

このように、学んだことは一度で定着しない。「脳の記憶の仕組み」がそのことを教えています。

だから、復習が大切なのです。